

箕面・世界子どもの本アカデミー賞ノミネート

平成 30 年(2018 年)度 ヤングアダルト賞

この中から、みなさんがいちばん好きだと思った作品をひとつ選んでください。みなさんの投票でヤングアダルト賞が決まります。

ここに紹介した本は箕面市の学校図書館で特に人気のある本や、熱烈な読者がいる本です。まだ読んでいない本があったら、この機会に読んでみてね。

あす 明日のひこうき雲

やつかすみこ 八東澄子 / 著 ポプラ社

私はキンちゃんに恋して、サッカー部のマネージャーになった。家では母が部屋にこもり、嫌になることもあるけど、私は学校に行きたい。友だち、サッカー部、そしてキンちゃんといると、私だってできることがあるから。



あるかしら書店

ヨシタケシンスケ / 著 ポプラ社

「本が好き」ということは、読むことだけではなく、本とまわりのすべてが愛しいと感じる心なのかも。

この書店には、「〇〇の本、あるかしら？」とたずねたら、「ありますよ！」と答えてくれるおじさんがいます。そこには、愛があふれているのです。



えほん 遠野物語 かっぱ

柳田国男 / 原作 京極夏彦 / 文
北原明日香 / 絵 汐文社

岩手県遠野の辺りでは不思議なことがよく起こる。川には多くの河童が棲んでいて、それも真っ赤な顔と体をしているのだ。

民俗学者柳田国男が、遠野の人々の間で伝承されていた話を集めた説話集、「遠野物語」が絵本となりました。



かがみの孤城

辻村深月 / 著 ポプラ社

学校に行けず、居場所がないところは、ある日、部屋にある鏡の中に引き込まれる。そこには、お城のような建物があり、隠された鍵を探し出せば、なんでも願いが叶うという。

鏡の世界に集められた7人の中学生の秘密とは。



カレーライスを一から作る

前田亜紀 / 著 ポプラ社

冒険家でもあり大学教授でもある関野さんは、「カレーライスを材料から作ろう！」と大学生たちに呼びかける。

お米や野菜を作るには土を耕すところから、鳥肉を作るにはヒナから育てるところから始まった！



そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティ / 著 青木久恵 / 訳
早川書房

無人島に集められた10人の男女。楽しい休暇を過ごすはずが、一人、また一人と順番に殺されていく。「犯人は何者だ？次に殺されるのは誰？」脱出不可能な島で、客たちは互いにさぐり合い、不安な日々を過ごしていく。



本を守ろうとする猫の話

夏川草介 / 著 小学館

祖父の死で、高校生の林太郎に残されたのは、一軒の古本屋だけ。そこに、言葉を話すトラネコが現れ「本を助けるために力を貸せ」と言う。

「本とは何か？」「本の力とは？」を訴えかける後味さわやかな物語。



りゅうおうのおしごと!

白鳥士郎 / 著 しらび / イラスト
SBクリエイティブ

16歳にして将棋の最強タイトル「竜王」保持者、九頭竜八一。彼の家へ住み込みの弟子としてやってきたのは、なんと小学三年生の女の子だった。将棋の世界は真剣で熱い。

